

和歌山県の地震

令和3年7月

1. 和歌山県の地震活動

| | |
|-------------------------|------------|
| 震央分布図 | ・・・・・・・・ 1 |
| 概況 | ・・・・・・・・ 1 |
| 断面図 | ・・・・・・・・ 2 |
| 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 | ・・・・・・・・ 3 |
| 震度分布図 | ・・・・・・・・ 4 |

2. 地震一口メモ

| | |
|-----------|------------|
| 震度の観測について | ・・・・・・・・ 7 |
|-----------|------------|

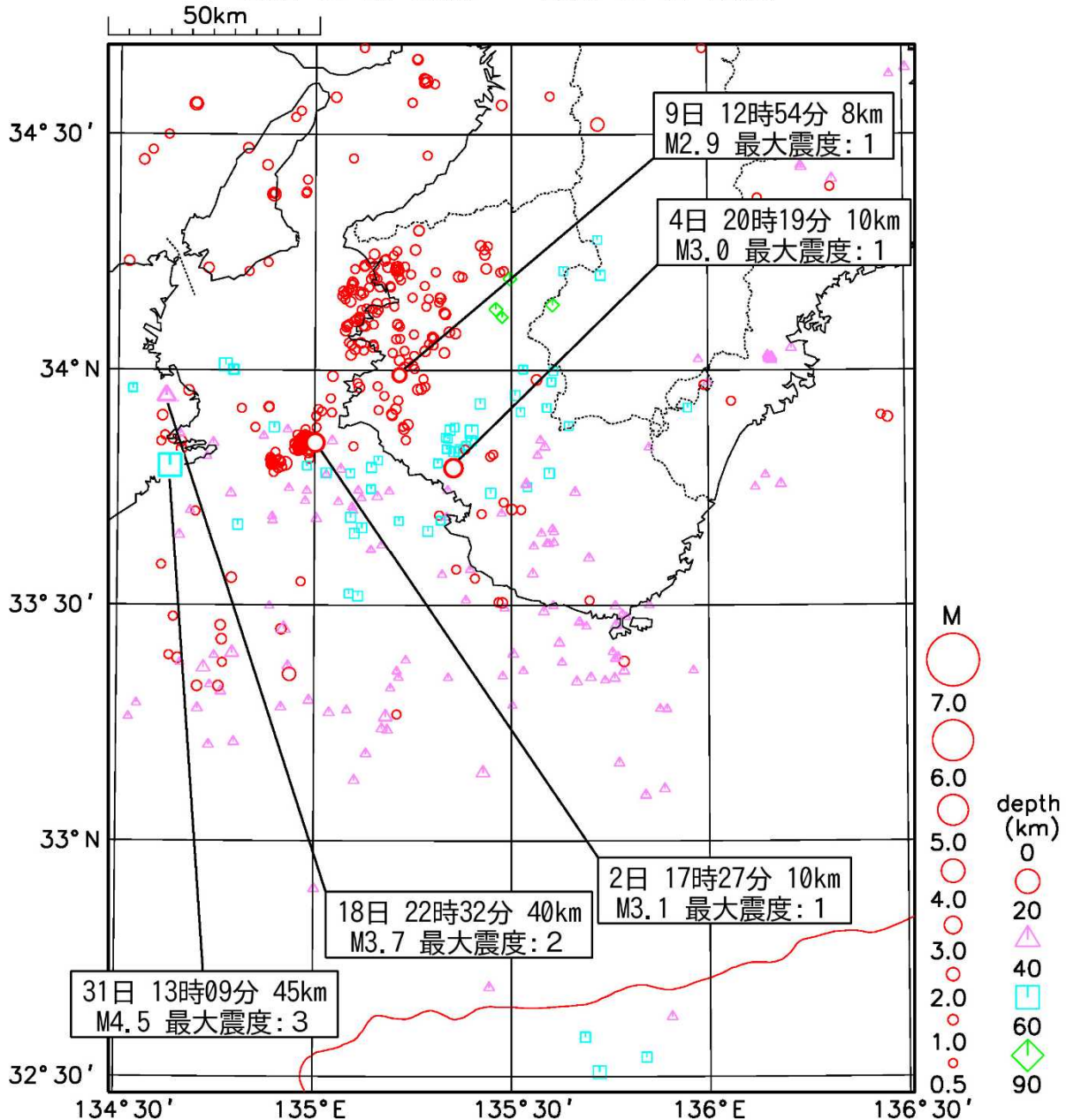
- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】

2021 07 01 00:00 -- 2021 07 31 24:00

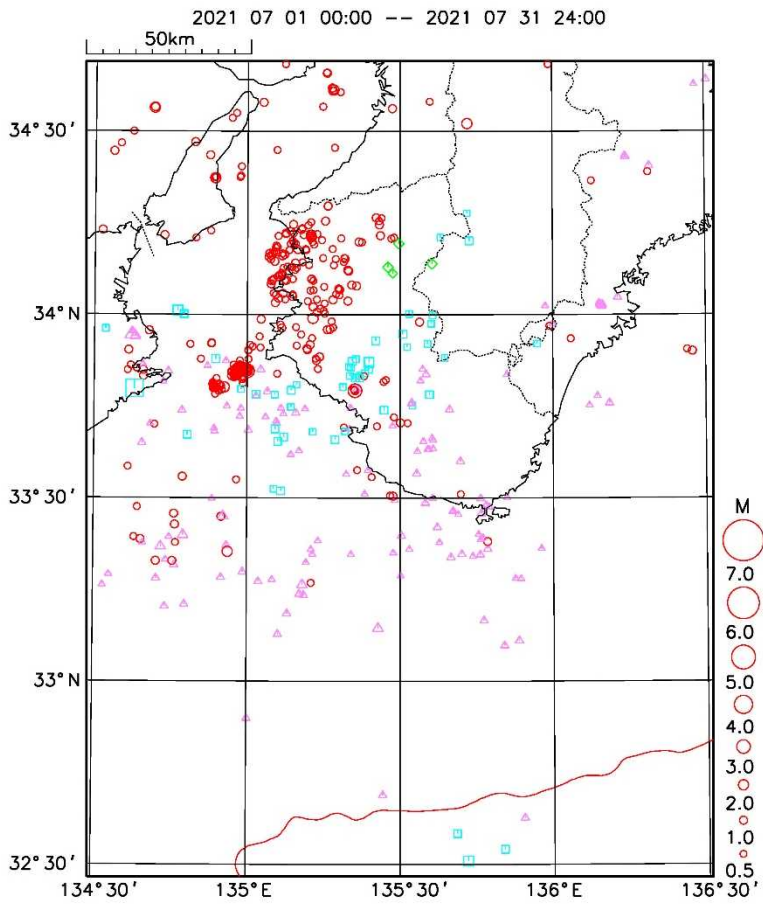


【概況】

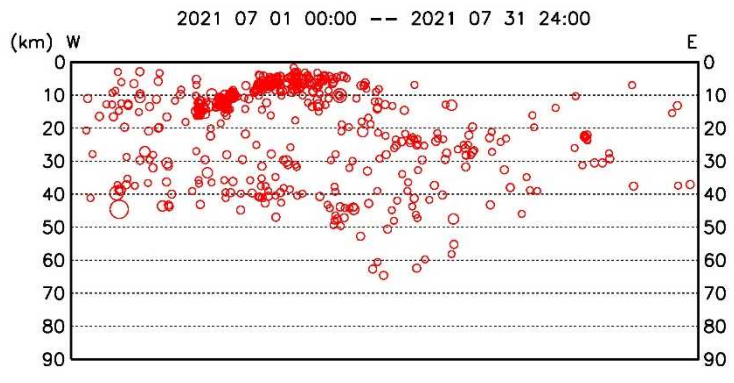
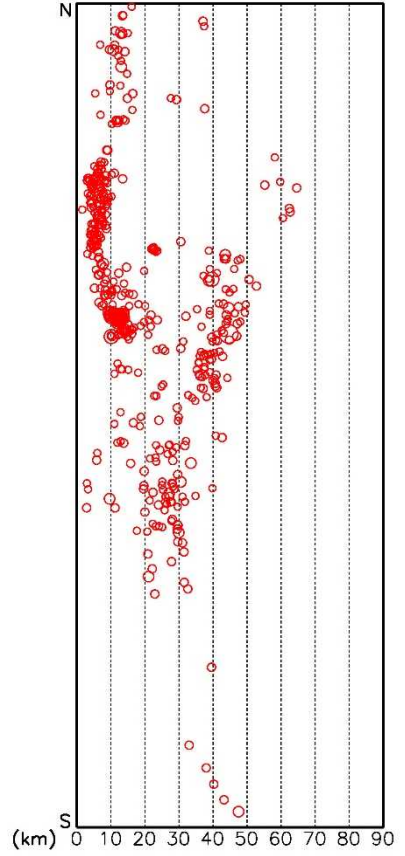
7月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は22回（前月は24回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、31日13時09分 徳島県南部の地震（深さ45km、M4.5）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

7月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、7回（前月7回）でした。

【断面図】



2021 07 01 00:00 -- 2021 07 31 24:00



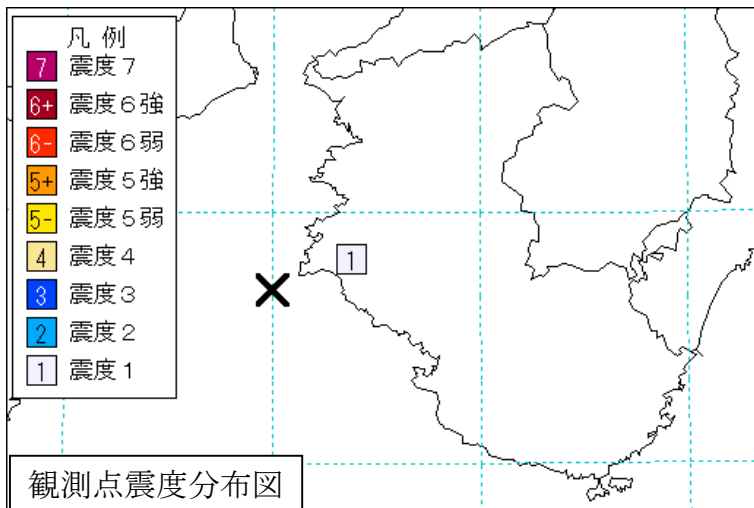
【和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧】

| 発震時（年月日時分） | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | マグニチュード |
|---|--------|-------------|--------------|------|---------|
| 各地の震度（和歌山県内のみ掲載） | | | | | |
| 2021年07月02日17時27分 | 紀伊水道 | 33° 50.7' N | 135° 00.0' E | 10km | M3.1 |
| 和歌山県 震度 1：日高川町土生* | | | | | |
| 2021年07月04日20時19分 | 和歌山県北部 | 33° 47.5' N | 135° 21.1' E | 10km | M3.0 |
| 和歌山県 震度 1：御坊市菌, みなべ町芝* | | | | | |
| 2021年07月09日12時54分 | 和歌山県北部 | 33° 59.4' N | 135° 12.8' E | 8km | M2.9 |
| 和歌山県 震度 1：由良町里* | | | | | |
| 2021年07月17日20時50分 | 伊予灘 | 33° 38.3' N | 131° 51.3' E | 76km | M5.1 |
| 和歌山県 震度 1：日高川町土生* | | | | | |
| 2021年07月18日14時35分 | 徳島県北部 | 33° 58.1' N | 133° 55.7' E | 45km | M4.4 |
| 和歌山県 震度 1：御坊市菌, 由良町里*, みなべ町芝*, 日高川町土生* | | | | | |
| 2021年07月18日22時32分 | 徳島県南部 | 33° 56.6' N | 134° 37.3' E | 40km | M3.7 |
| 和歌山県 震度 2：湯浅町青木* | | | | | |
| 震度 1：和歌山市一番丁*, 海南市下津*, 御坊市菌, 和歌山広川町広*, 和歌山日高町高家*, 由良町里*, 日高川町土生*, 紀の川市貴志川町神戸*, 紀美野町下佐々*, 有田川町中井原* | | | | | |
| 2021年07月31日13時09分 | 徳島県南部 | 33° 47.8' N | 134° 37.9' E | 45km | M4.5 |
| 和歌山県 震度 2：海南市下津*, 有田市箕島, 有田市初島町*, 御坊市菌, 湯浅町青木*, 和歌山広川町広*, 和歌山美浜町和田*, 由良町里*, 日高川町土生*, 有田川町下津野*, 田辺市中屋敷町*, 上富田町朝来* | | | | | |
| 震度 1：和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁*, 海南市南赤坂*, かつらぎ町丁ノ町*, 和歌山日高町高家*, 和歌山印南町印南*, みなべ町土井, みなべ町芝*, 日高川町高津尾*, 日高川町川原河*, 紀の川市粉河, 紀の川市那賀総合センター*, 紀の川市貴志川町神戸*, 紀の川市西大井*, 紀の川市桃山町元*, 紀美野町下佐々*, 有田川町清水*, 有田川町中井原*, 岩出市西野*, 田辺市中辺路町近露, 田辺市中辺路町栗栖川*, 田辺市本宮町本宮*, 田辺市鮎川*, 新宮市熊野川町日足*, 白浜町消防本部, 白浜町日置*, すさみ町周参見*, 太地町太地暖海公園*, 太地町役場*, 古座川町高池 | | | | | |

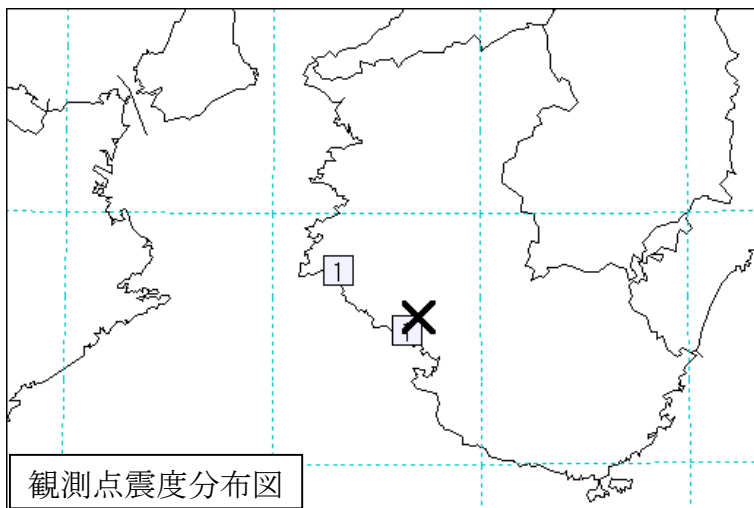
名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図（図中の×は震央）】

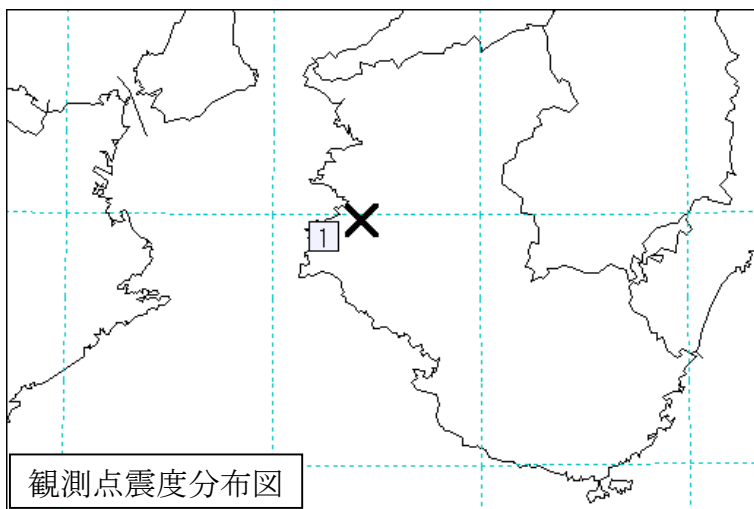
2021年07月02日17時27分 紀伊水道の地震（深さ10km、M3.1）



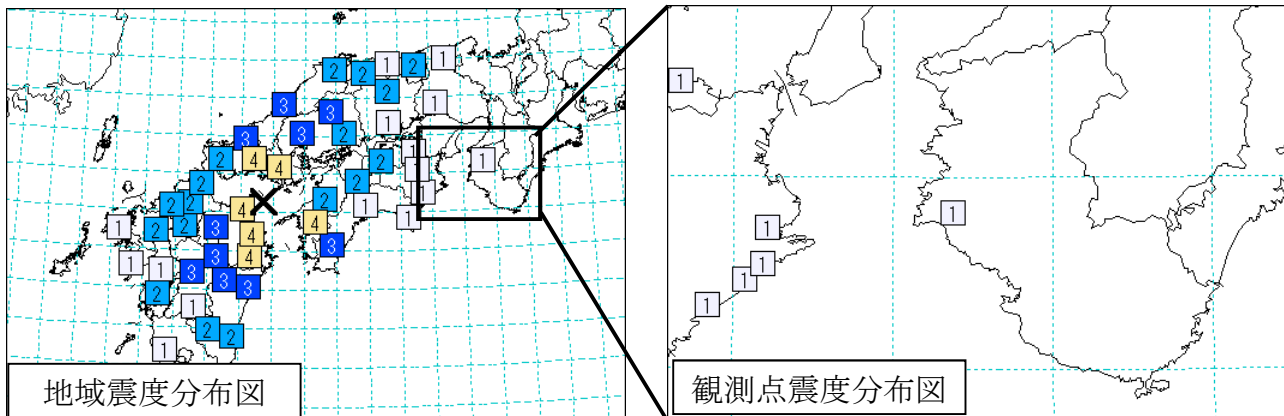
2021年07月04日20時19分 和歌山県北部の地震（深さ10km、M3.0）



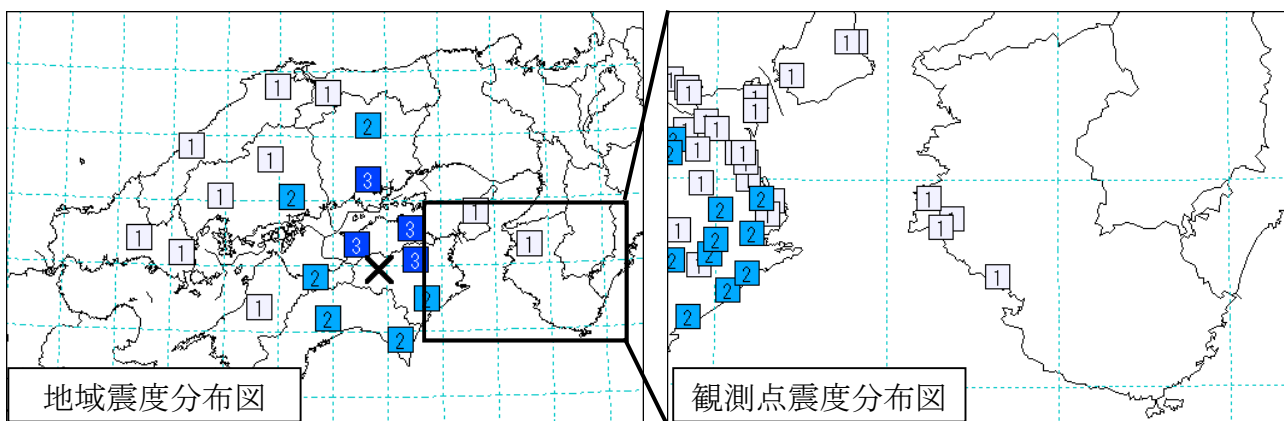
2021年07月09日12時54分 和歌山県北部の地震（深さ8km、M2.9）



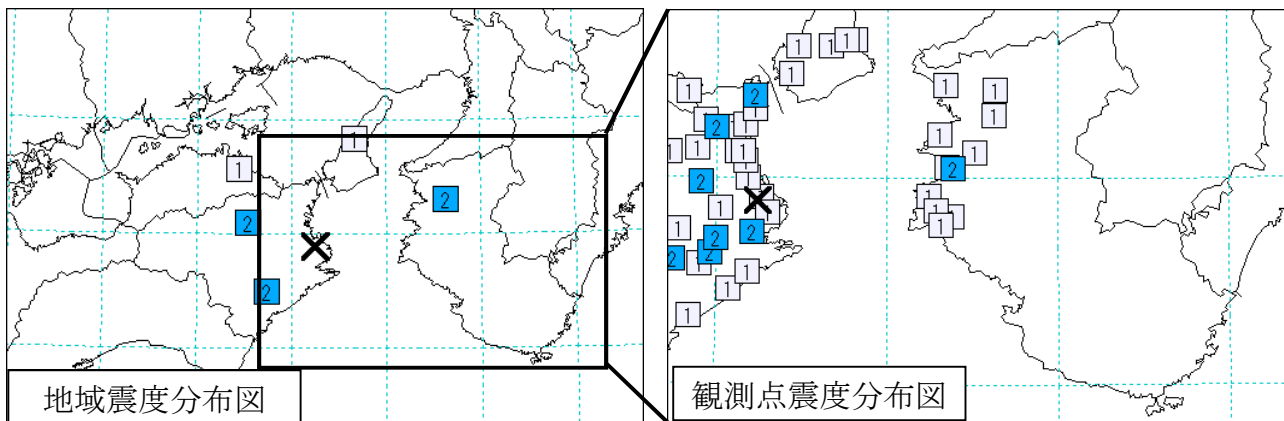
2021年07月17日20時50分 伊予灘の地震（深さ76km、M5.1）



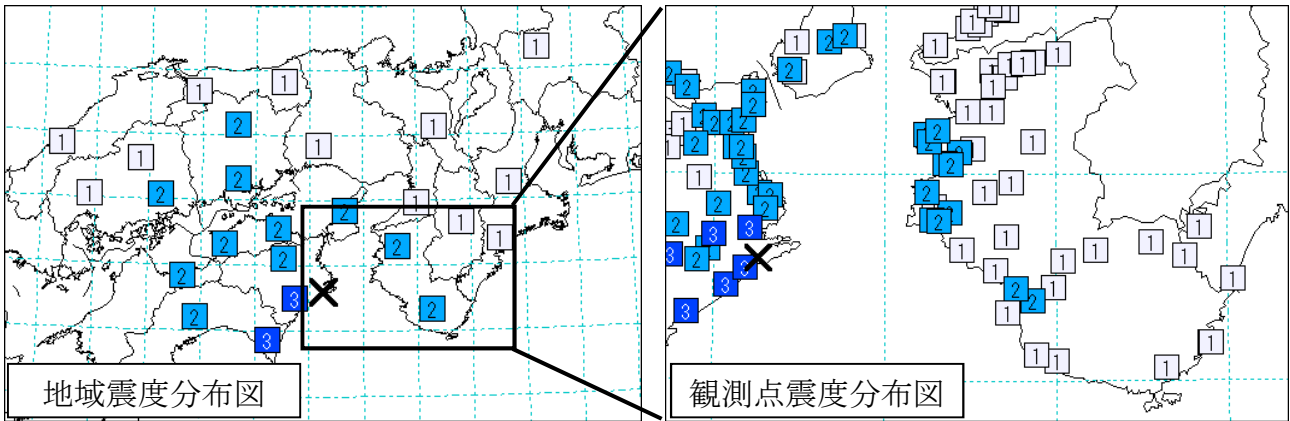
2021年07月18日14時35分 徳島県北部の地震（深さ45km、M4.4）



2021年07月18日22時32分 徳島県南部の地震（深さ40km、M3.7）



2021年07月31日13時09分 徳島県南部の地震（深さ45km、M4.5）



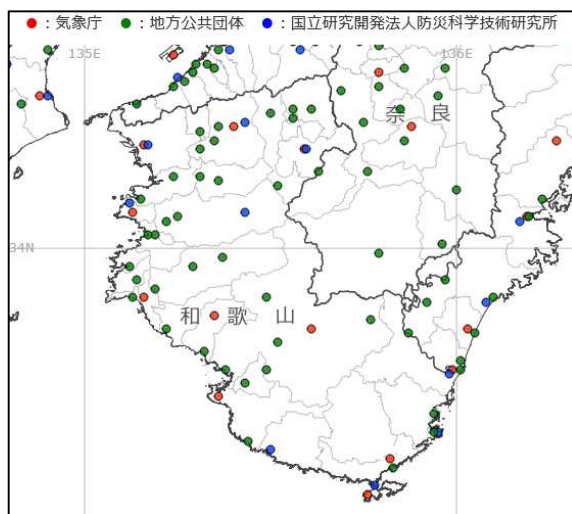
2. 地震一口メモ

震度の観測について

◎震度の観測方法

震度の観測は、明治17年(1884年)から始まり、観測開始当初から長い間、気象台等で観測者が体感や周囲の状況などから判断して震度を決めていましたが、平成3年(1991年)からは震度計が導入され体感による観測と併用するようになり、平成8年(1996年)4月から全て震度計で観測するようになりました。

震度計の導入により、客観的な震度データが迅速に収集されるようになり、観測点も多くなりました。震度計は、気象庁の他、都道府県等地方公共団体、(国研)防災科学技術研究所により整備・運営されており、令和3年7月1日現在、全国に4377地点(和歌山県内=57)あります。



和歌山県および周辺の震度観測点

◎気象庁震度階級

気象庁震度階級は、「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10階級となっています。

以下は、観測された震度と、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安です。

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|-----------------|---|-----------------|--|
| <p>0</p> | <p>【震度0】 人は揺れを感じない。</p> | <p>1</p> | <p>【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p> | <p>2</p> | <p>【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p> | <p>3</p> | <p>【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p> |
| <p>4</p> | <p>【震度4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 | <p>6弱</p> <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p> | <p>【震度6弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 | | | | |
| <p>5弱</p> | <p>【震度5弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 | <p>6強</p> <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p> | <p>【震度6強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 | | | | |
| <p>5強</p> | <p>【震度5強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 | <p>7</p> <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p> | <p>【震度7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。 | | | | |